

# 品川区教育委員会会議記録

平成 22 年 第 8 回 臨時会

場 所 教育委員室  
期 日 平成 22 年 7 月 21 日  
開 会 午後 2 時 07 分  
閉 会 午後 4 時 01 分

出席委員	委 員 長	安尾 久子
	委員長職務代理者	細川 珠生
	委 員	市川 信之助
	委 員	鈴木 敏夫
	教 育 長	若月 秀夫
欠席委員		

出席職員	教 育 次 長	市川 一夫
	庶 務 課 長	田村 信二
	学 務 課 長	富田 祥子
	指 導 課 長	冠木 健
	小中一貫教育担当課長	和氣 正典
	品川図書館長	小川 陽子

議事運営および 委員長、教育 長報告事項等	<ul style="list-style-type: none"> <li>署名委員に細川委員、市川委員を指名。</li> </ul>
-----------------------------	--

件名	日程第1 第53号議案 品川区立教育センター条例施行規則の一部を改正する規則
担当課説明等	(指導課長) ・ 資料に基づき説明
委員質疑要旨	(委員B) ・ プレイルームは具体的に何に利用するのか。  (委員E) ・ センターの心理職職員は学校へ赴くことはないのか。 ・ 学校経営センターの項目が削除されているのはなぜか。
事務局説明	(指導課長) ・ プレイルームについて、相談の対象は子どもと保護者になるが、子どもの行動の様子を遊びを通して観察するために利用する。 ・ センターの職員について、7名の心理職職員が在籍しており、主にセンターでの相談業務にあたっている。緊急の場合等に学校での相談等にも応じている。またスクールカウンセラーを兼任している者もいる。 ・ 学校経営センターについて、施設の建て替えにより、学校経営センターの機能を事務局に集中させ、教育センターには同機能を設けない。
委員意見要旨	特になし
議事結果	原案可決

件名	日程第2 協議事項 平成23年度小学校使用教科用図書の採択について（理科）
担当課説明等	（指導課長） ・ 資料に基づき説明
委員質疑要旨	（委員B） ・ それぞれ分かりやすい教科書だ。環境教育を推進している教科書はあるか。  （委員D） ・ B社には「保護者の方へ」という記述がある。小さなことだが、何気ない家庭への心遣いがあると思う。  （委員C） ・ 比較してみるとB社はレベルが高いという印象だ。他にも臭いや色に着目したり、熱を加えるとどうなるかなど理科への関心を高める工夫がされている。ただし、レベルがやはり高いので理科が不得意な子どもに差がでないか心配だ。  （委員E） ・ 理科は勉強する、観察するというだけでなく、環境教育などに関する文章が入って、先生がその意義を知った上で子どもに伝えることが大切だ。  （委員A） ・ 気象観察について具体的に指導しやすいものはどれか。
事務局説明	（指導課長） ・ 環境教育について、各社ともそれぞれの取り組みを記載している。 ・ B社のレベルについて、検討委員会では、丁寧に解説がされているという所見があり、児童への指導に問題はない。 ・ 気象観察について、B社は特徴的といえる雲の記述があったり、実際にどういう観察をして記録をつけたか、を意識させるようになっている。
委員意見要旨	（委員E） ・ B社を推す意見が多い。B社で仮決定したい。 （委員一同） ・ 異議なし
議事結果	理科はB社に仮決定する。

<p>件名</p>	<p>日程第2 協議事項 平成23年度小学校使用教科用図書の採択について（社会）</p>
<p>担当課説明等</p>	<p>（指導課長） ・ 資料に基づき説明</p>
<p>委員質疑要旨</p>	<p>（委員E） ・ A社はページも多く、学びのスキルの数も多い。スキルの数は多い方がよいのか。</p> <p>（委員B） ・ 問題解決的な学習方法について聞きたい。</p> <p>（委員A） ・ 問題解決型学習について、今は「なぜ」「どうして」という問いの問題提起ばかりで、子どもに必要感のない問いかけが多い。必要なのは子ども自身が作り出す問題である。問題解決力の前に課題作成、問題作成の力が必要だ。そのためには知識がしっかりしていないといけない。そういう視点で、知識をしっかり教えている会社はどこか。</p> <p>（委員C） ・ 品川で使うものは知識を徹底的につけさせることを優先し、分量が多いものとしたい。</p> <p>（委員E） ・ 知識をしっかり教えることが大切である。社会は学びながら日本人としての誇りを持ってもらうという面もある教科だ。 自分が幼い頃、日本は造船で世界一だということを学び誇らしい気持ちになった。そういう誇らしい気持ちを育てたい。A社は本田宗一郎氏や湯川秀樹氏など世界に誇れる日本人を紹介しており、そういう誇らしい日本人を子どもたちに知ってもらい、今の子どもたちに元気な気持ちを持ってもらいたい。</p> <p>（委員A） ・ 各社よくできており、優劣つけ難い。北方領土の扱いについてだが、書き方が弱腰ではいけない。「占領されている。」と明記しているのは2社程度しかない。E社は触れてもいない。C社ははっきりと5年生で「占領されている」と記載している。A社は6年での記載だが、記載はされているようだ。</p>
<p>事務局説明</p>	<p>（指導課長） ・ 学びのスキルの数の多さについて、これらの例示は資料としても使えるので、多い方がよい。 ・ 問題解決型学習については、課題を投げかけて、それを解決していくという調べ学習であり、これは子どもに沢山の引き出しを持たせるものである。 ・ 知識をしっかり教えている会社としてはA社のようだ。</p>
<p>委員意見要旨</p>	<p>（委員E） ・ A社を推す意見が多い。A社で仮決定したい。 （委員一同） ・ 異議なし</p>
<p>議事結果</p>	<p>社会はA社に仮決定する。</p>



件名	日程第2 協議事項 平成23年度小学校使用教科用図書の採択について（地図）
担当課説明等	（指導課長） ・ 資料に基づき説明
委員質疑要旨	（委員D） ・ 地図は見やすいのが第一だ。どちらも内容もよく、大きな差異はないが、個人的にはA社が見やすいと思う。  （委員C） ・ 地図を子どもに見せる上で、日本全図を見れることは最低限必要だと考えるが、どう考えるか。 ・ 統計やグラフの表し方を合わせ、情報量の多さと地図の活用と学習への結びつけから考えるとA社がよいと思う。 ・ B社の各県の見せ方はわかりやすいが、地図帳でここまでやる必要があるかは疑問だ。  （委員B） ・ 色の使い方や地図の大きさなどの見やすさの点ではA社だと思う。  （委員A） ・ A社の方が使いやすく見やすい。B社は索引が見にくい。 ・ 索引の項目は多い方がよいと思うが、各社それぞれ何項目ずつ記載されているのか。
事務局説明	（指導課長） ・ 日本全図について、A社のように日本全国を大きな見開きのページで一覧できるのは有効である。B社は日本全国を1ページに収めて、各地域の代表的な県を大きく取り上げるといった工夫をしている。 ・ 検討委員会では索引の項目数については数えてはいない。
委員意見要旨	（委員E） ・ A社を推す意見が多い。A社で仮決定したい。 （委員一同） ・ 異議なし
議事結果	地図はA社に仮決定する。

件名	その他 がんばれ宮崎プロジェクトについて
担当課説明等	(指導課長) ・ 資料に基づき説明
委員質疑要旨	特になし
事務局説明	特になし
委員意見要旨	特になし
議事結果	了承